

5 . 環境

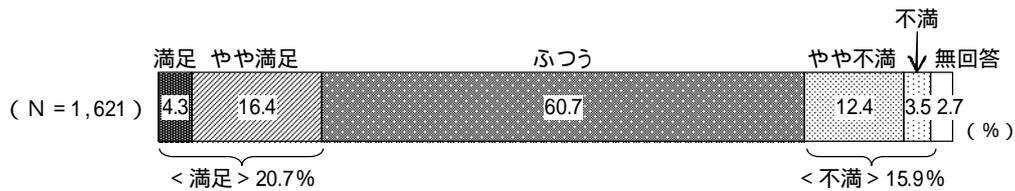
5 - 1 川越市の環境への満足度

「ふつう」が60.7%

問26 あなたは、川越市の環境について、どのように感じていますか。次の中から1つ選んでください。(は1つ)

「環境」とは、地球温暖化、廃棄物問題、生物の多様性、都市のみどりまで幅広く捉えた環境を想定しています。

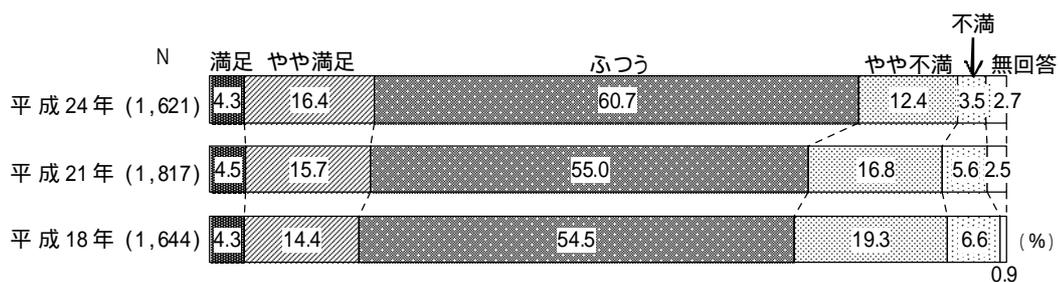
図5 - 1 - 1



川越市の環境への満足度をたずねたところ、「満足」(4.3%)と「やや満足」(16.4%)を合わせた<満足>(20.7%)が20%を超え、「不満」(3.5%)と「やや不満」(12.4%)を合わせた<不満>(15.9%)が10%半ばとなっており、<満足>が<不満>より4.8ポイント高くなっている。「ふつう」(60.7%)は60%を超えている。(図5 - 1 - 1)

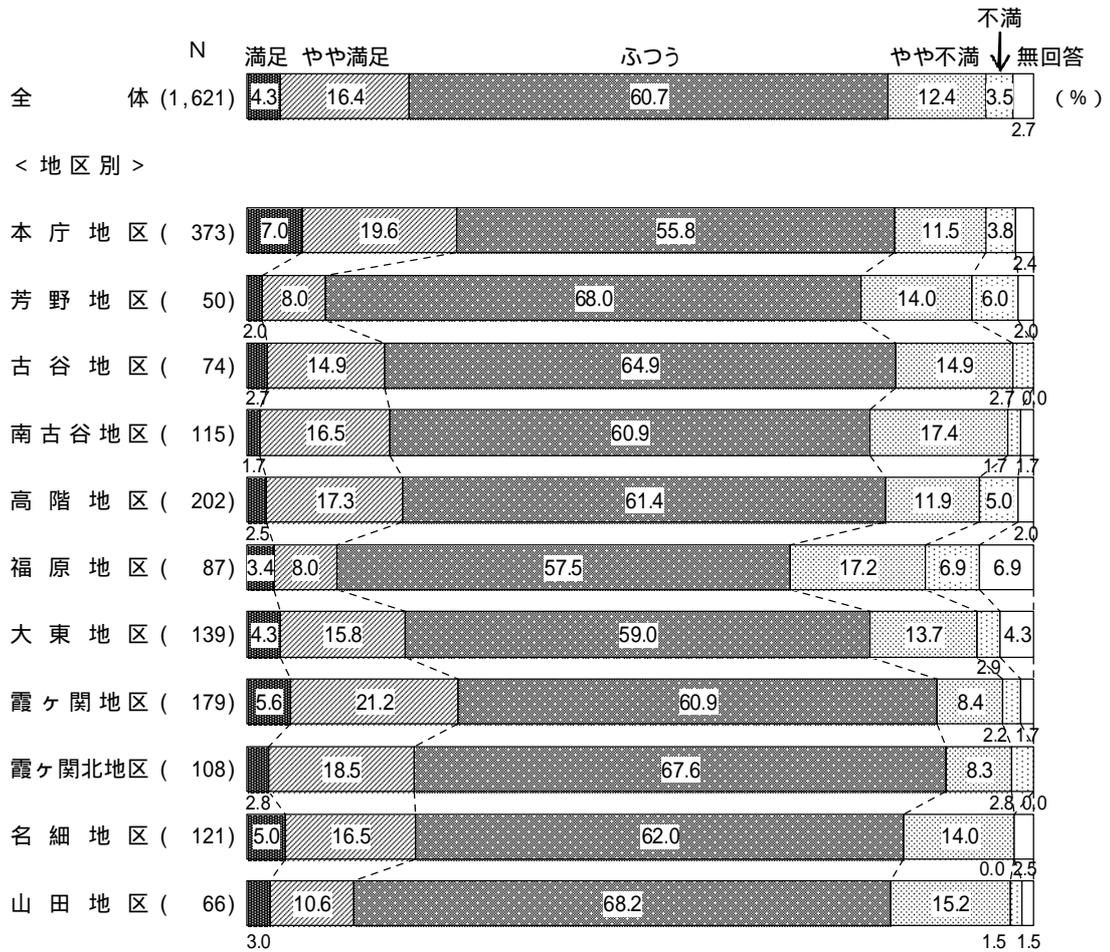
時系列でみると、<満足>の割合はほぼ同じ傾向になっているが、<不満>は前回調査と比べて6.5ポイント減少している。(図5 - 1 - 2)

図5 - 1 - 2 時系列 川越市の環境への満足度



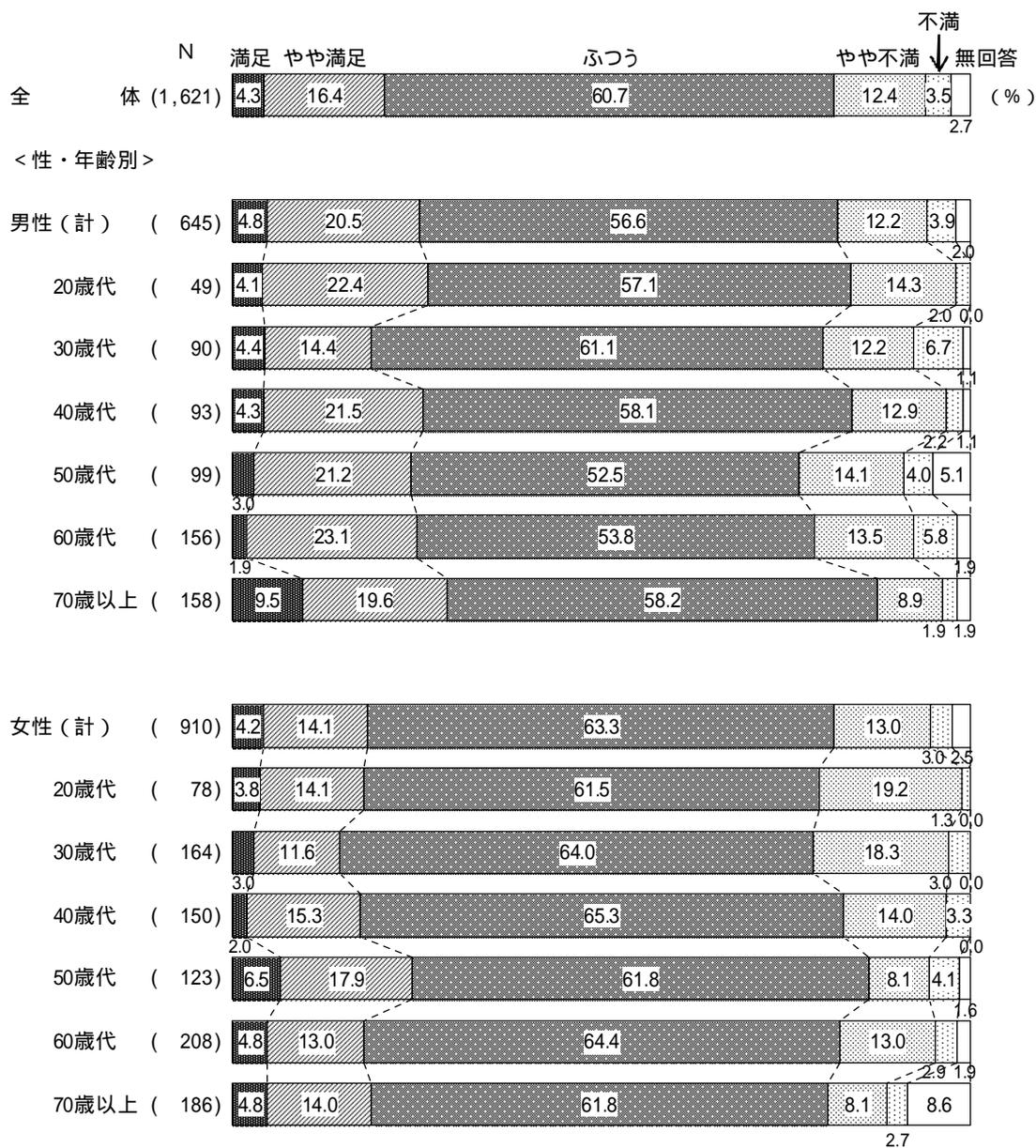
地区別にみると、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足>は、本庁地区と霞ヶ関地区がともに20%半ばで多くなっている。「不満」と「やや不満」を合わせた<不満>は、福原地区が20%半ばで多くなっている。(図5-1-3)

図5-1-3 地区別 川越市の環境への満足度



性・年齢別に見ると、「満足」と「やや満足」を合わせた<満足>は、男性(25.3%)が女性(18.3%)より7.0ポイント高くなっており、特に男性70歳以上が30%近くで多くなっている。「不満」と「やや不満」を合わせた<不満>は、女性20歳代と30歳代がともに20%を超えている。(図5-1-4)

図5-1-4 性・年齢別 川越市の環境への満足度

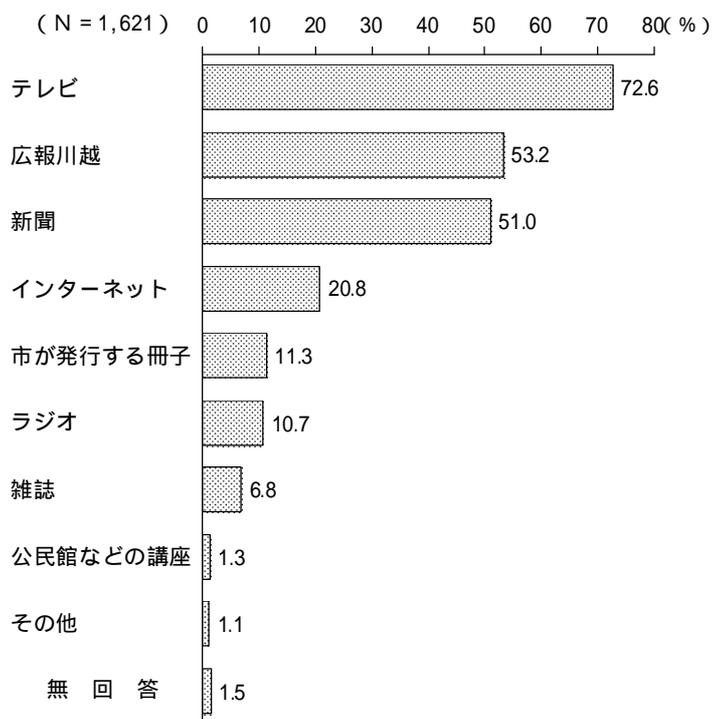


5 - 2 環境に関する情報の入手先

「テレビ」が72.6%

問27 あなたは、普段、環境に関する情報をどこから入手していますか。次の中から3つ以内で選んでください。(は3つ以内)

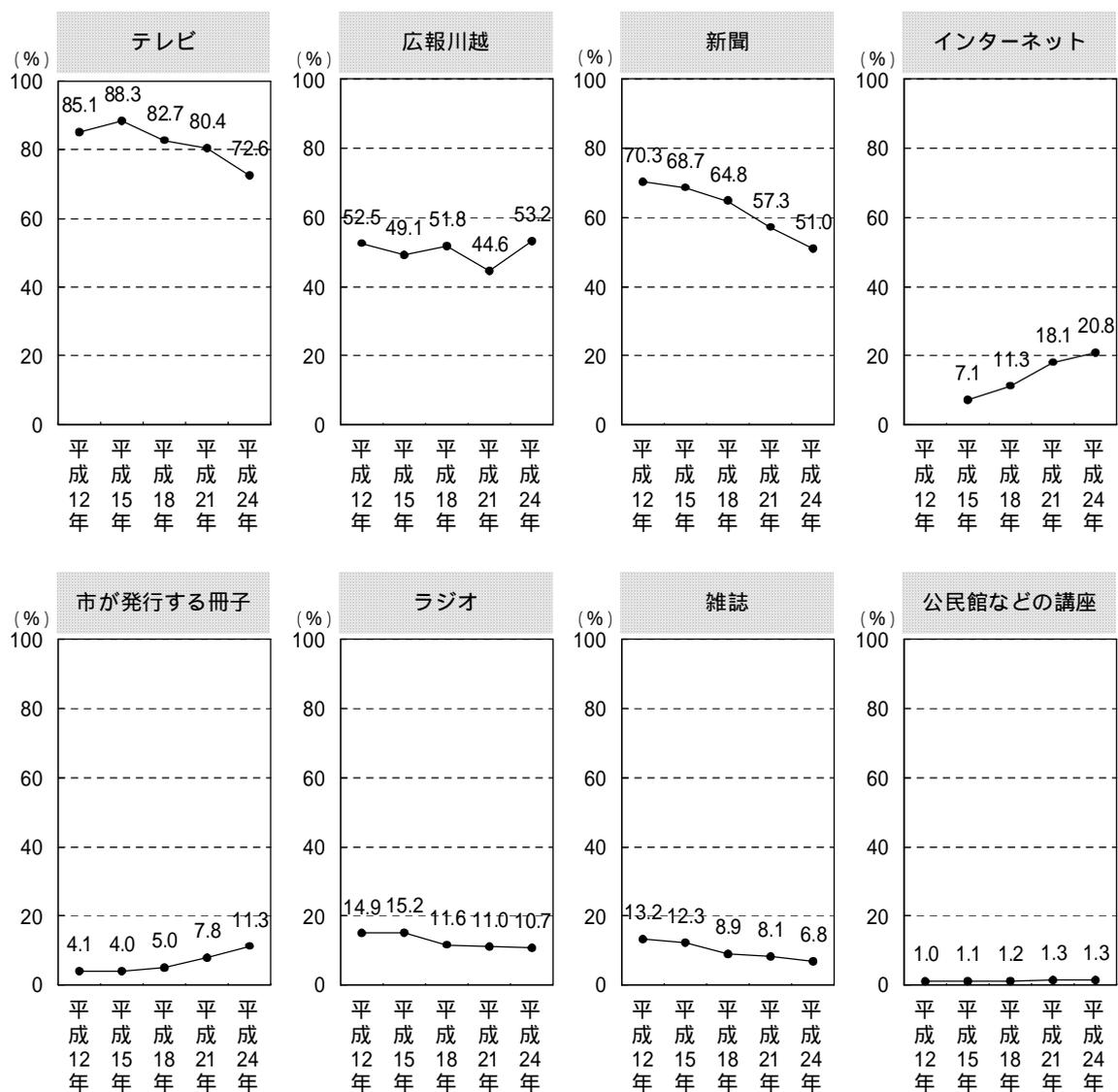
図5 - 2 - 1



環境に関する情報の入手先をたずねたところ、「テレビ」(72.6%)が最も多く、70%を超えている。以下、「広報川越」(53.2%)、「新聞」(51.0%)、インターネット(20.8%)などの順となっている。(図5 - 2 - 1)

時系列でみると、前回調査と比べて「テレビ」が7.8ポイント、「新聞」が6.3ポイント、それぞれ減少している一方で、前回調査と比べて「広報川越」が8.6ポイント、「インターネット」が2.7ポイント、それぞれ増加している。(図5 - 2 - 2)

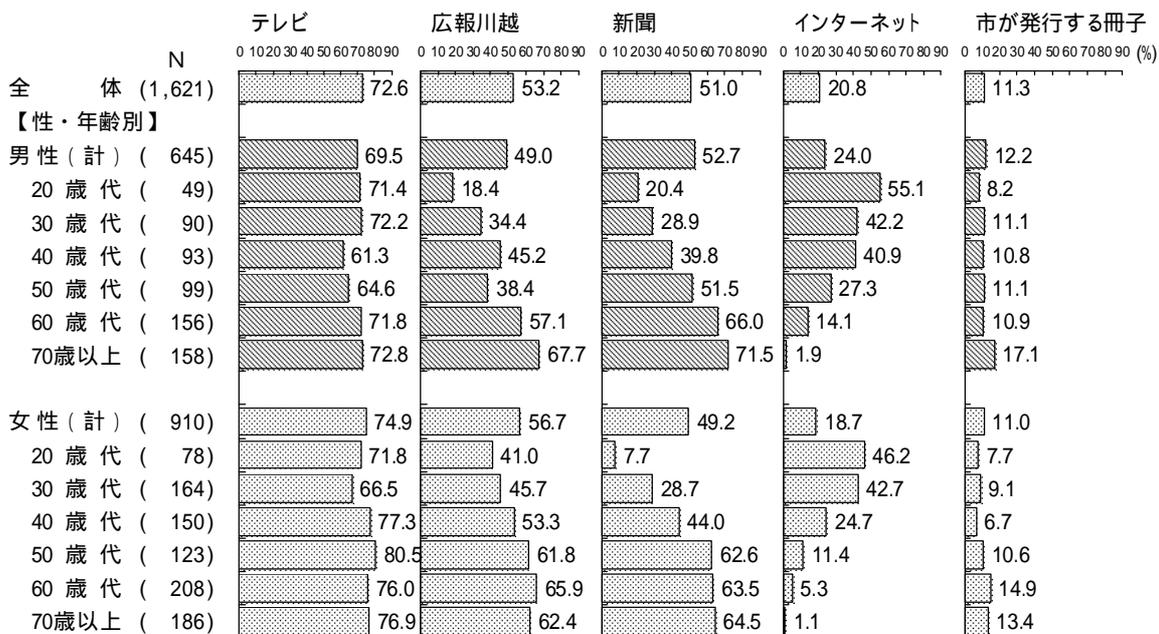
図5 - 2 - 2 時系列 環境に関する情報の入手先



上位5項目を性・年齢別にみると、「広報川越」と「新聞」はともに、おおむね高い年代ほど割合が高くなる傾向にある。逆に「インターネット」は低い年代ほど割合が高くなっている。

(図5 - 2 - 3)

図5 - 2 - 3 性・年齢別 環境に関する情報の入手先

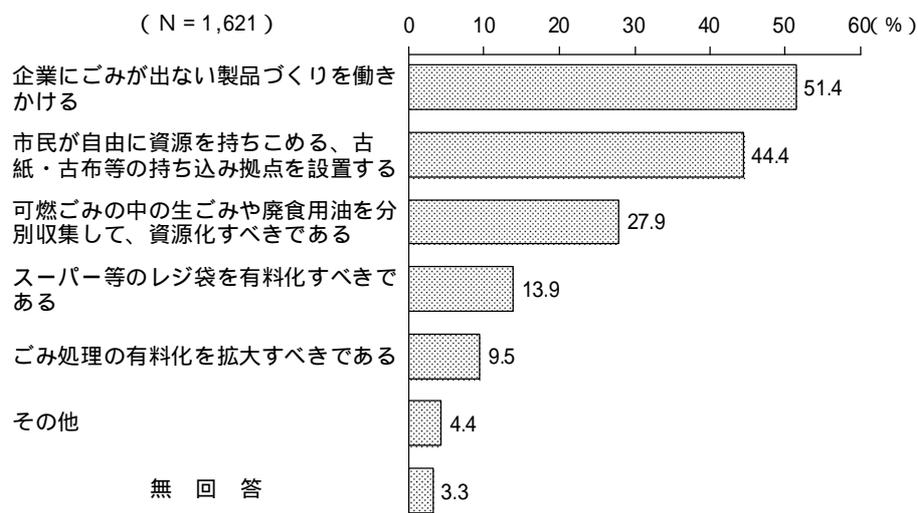


5 - 3 ごみ減量のための方策

「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」が51.4%

問28 あなたは、ごみを減らすために、どのようにすべきだと思いますか。次の中から2つを選んでください。(は2つ)

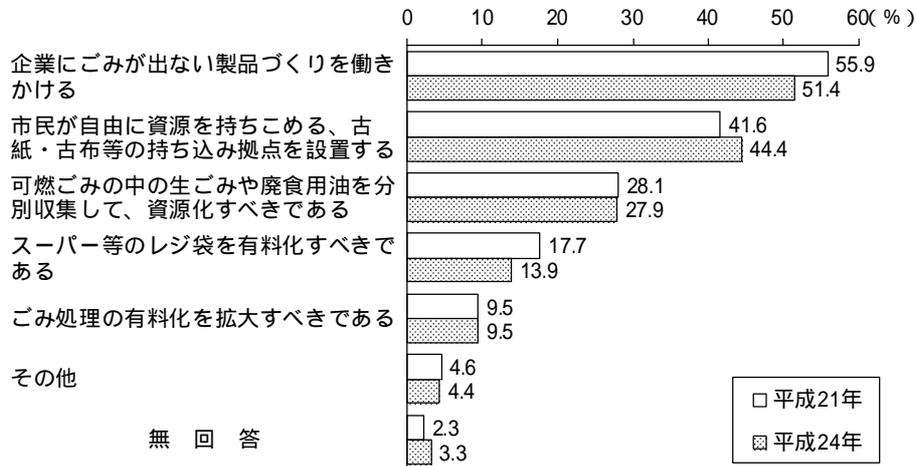
図 5 - 3 - 1



ごみ減量のための方策をたずねたところ、「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」(51.4%)が最も多く、50%を超えている。以下、「市民が自由に資源を持ちこめる、古紙・古布等の持ち込み拠点を設置する」(44.4%)、「可燃ごみの中の生ごみや廃食用油を分別収集して、資源化すべきである」(27.9%)、「スーパー等のレジ袋を有料化すべきである」(13.9%)、「ごみ処理の有料化を拡大すべきである」(9.5%)と続いている。(図 5 - 3 - 1)

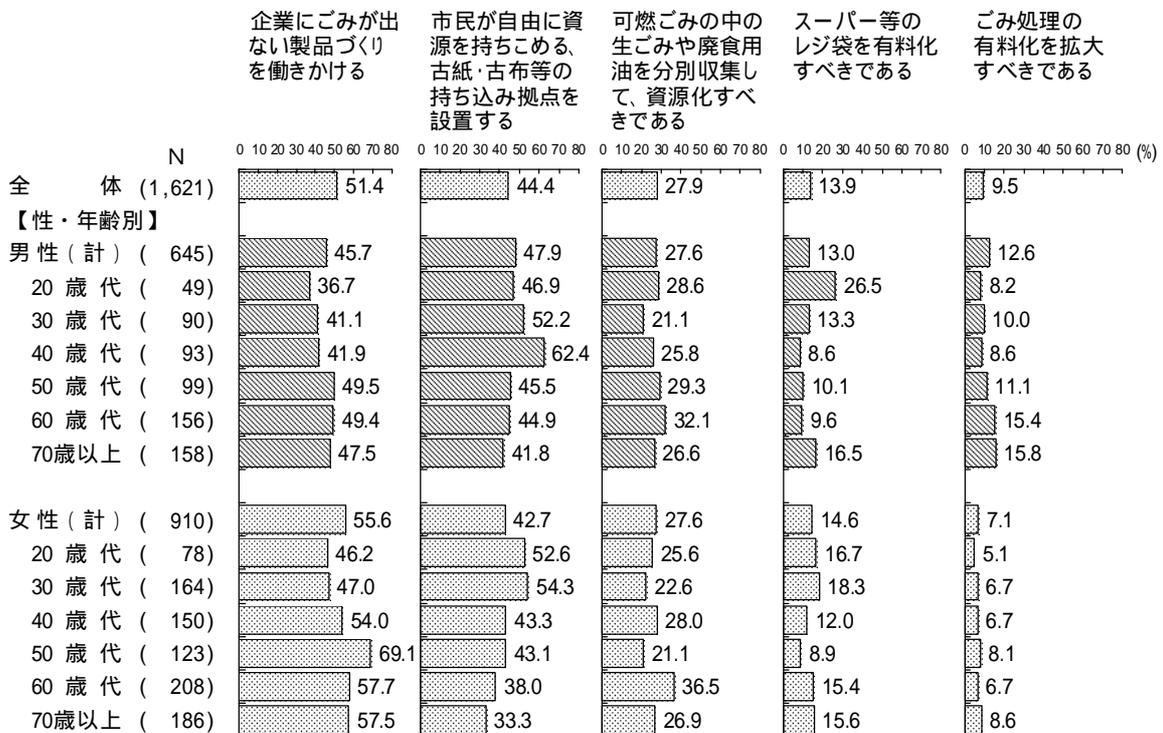
時系列でみると、「市民が自由に資源を持ちこめる、古紙・古布等の持ち込み拠点を設置する」は前回調査と比べて2.8ポイント増加している。「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」は前回調査と比べて4.5ポイント、「スーパー等のレジ袋を有料化すべきである」は前回調査と比べて3.8ポイント、それぞれ減少している。(図5-3-2)

図5-3-2 時系列 ごみ減量のための方策



性・年齢別にみると、「企業にごみが出ない製品づくりを働きかける」は女性50歳代が70%近くで多くなっている。「市民が自由に資源を持ちこめる、古紙・古布等の持ち込み拠点を設置する」は男性40歳代が60%を超えて多くなっている。(図5-3-3)

図5-3-3 性・年齢別 ごみ減量のための方策

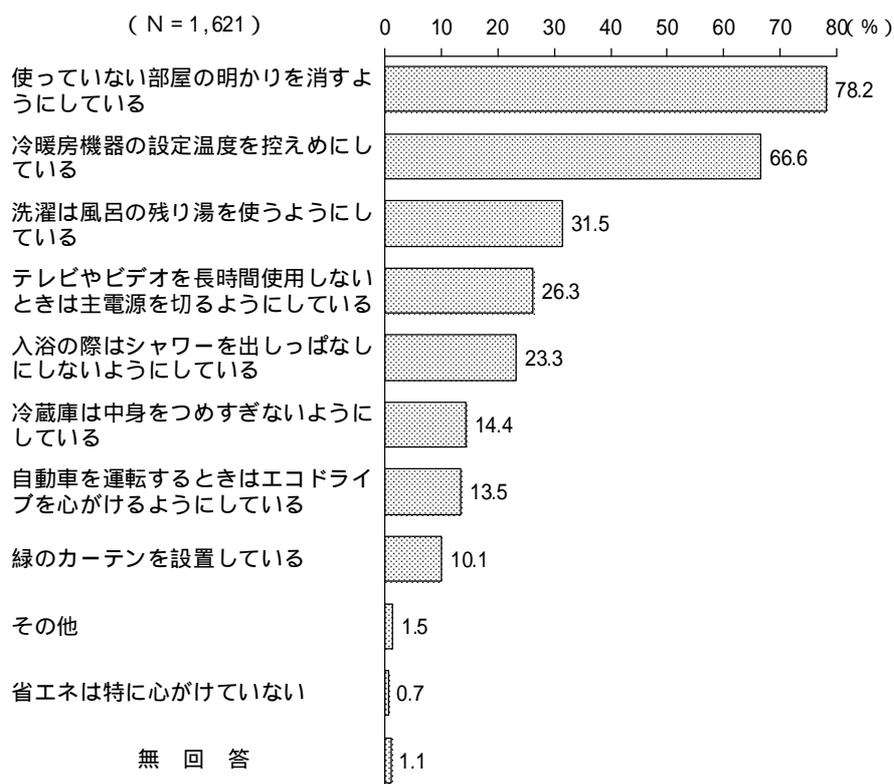


5 - 4 実行している省エネ活動

「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」が78.2%

問29 あなたは、省エネのためにどのようなことを行っていますか。次の中から3つ以内で選んでください。(は3つ以内)

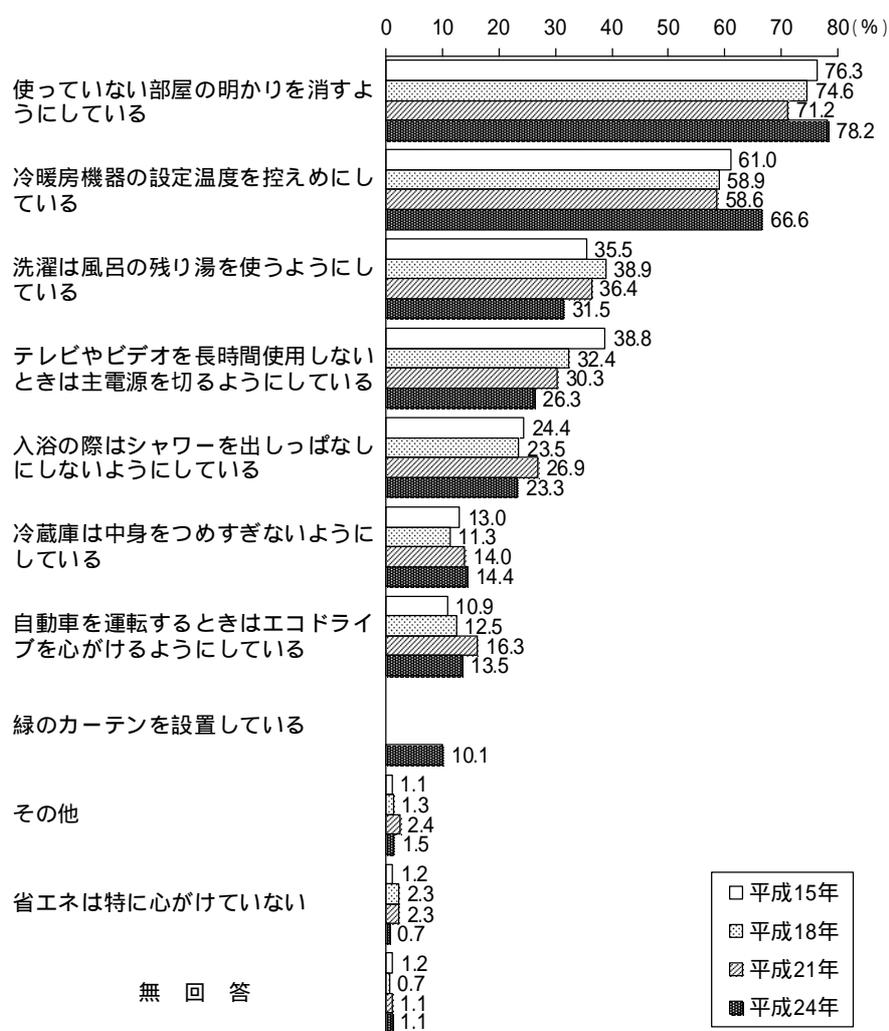
図5 - 4 - 1



実行している省エネ活動をたずねたところ、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」(78.2%)が最も多く、80%近くとなっている。以下、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」(66.6%)、「洗濯は風呂の残り湯を使うようにしている」(31.5%)、「テレビやビデオを長時間使用しないときは主電源を切るようにしている」(26.3%)、「入浴の際はシャワーを出しっぱなしにしないようにしている」(23.3%)などの順となっている。(図5 - 4 - 1)

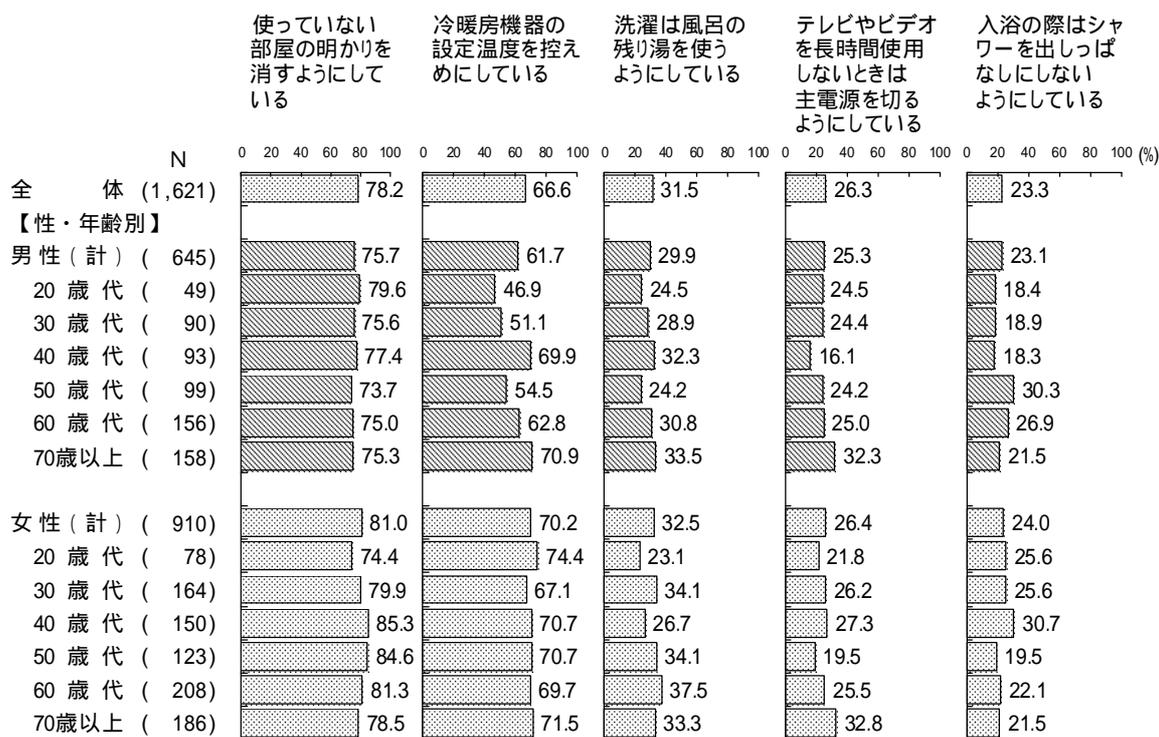
時系列でみると、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」は前回調査と比べて8.0ポイント、「使っていない部屋の明かりを消すようにしている」は前回調査と比べて7.0ポイント、それぞれ増加している。また、「テレビやビデオを長時間使用しないときは主電源を切るようにしている」は減少傾向となっている。(図5 - 4 - 2)

図5 - 4 - 2 時系列 実行している省エネ活動



上位5項目を性・年齢別にみると、「冷暖房機器の設定温度を控えめにしている」は、女性(70.2%)が男性(61.7%)より8.5ポイント高くなっており、また、男性の20歳代、30歳代、50歳代で、他の年代に比べて割合が低くなっている。(図5-4-3)

図5-4-3 実行している省エネ活動



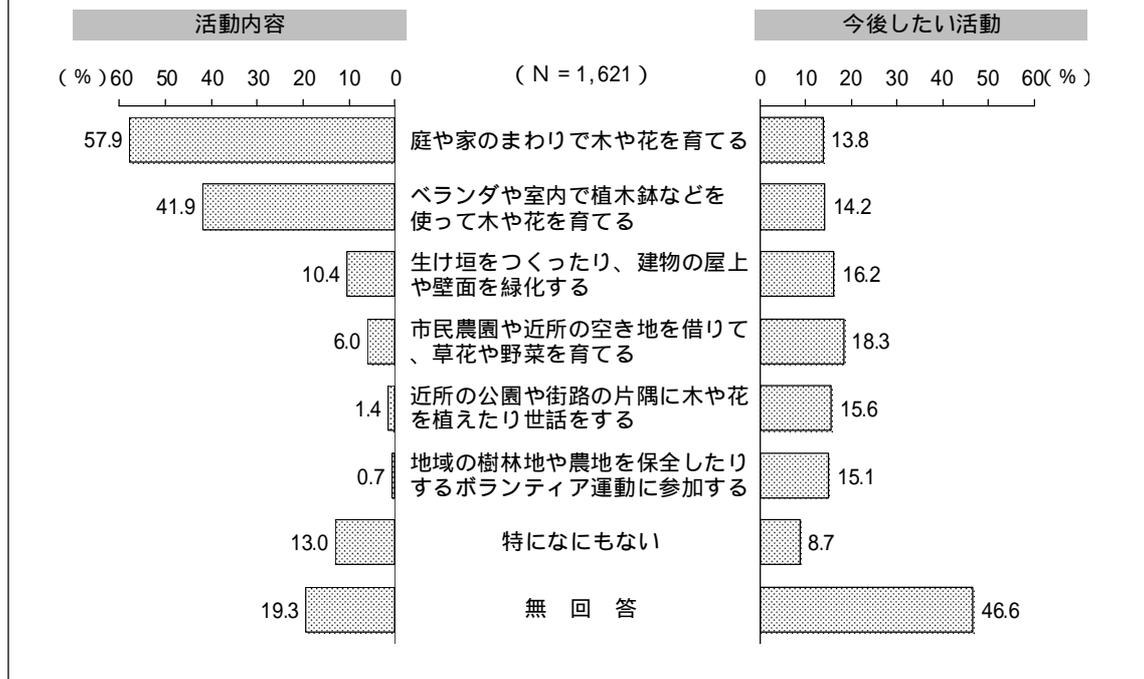
5 - 5 まちの緑化への活動内容 / 今後したい活動

現在している活動は「庭や家のまわりで木や花を育てる」が57.9%、

今後したい活動は「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」が18.3%

問30 あなたは、緑を増やすために、現在どのようなことをしていますか。また 今後どのようなことをしたいですか。(はいいくつでも)

図 5 - 5 - 1



まちの緑化のために〔現在している活動〕と〔今後したい活動〕をたずねたところ、〔現在している活動〕では、「庭や家のまわりで木や花を育てる」(57.9%)が最も多く、60%近くとなっている。以下、「ベランダや室内で植木鉢などを使って木や花を育てる」(41.9%)、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」(10.4%)などの順となっている。

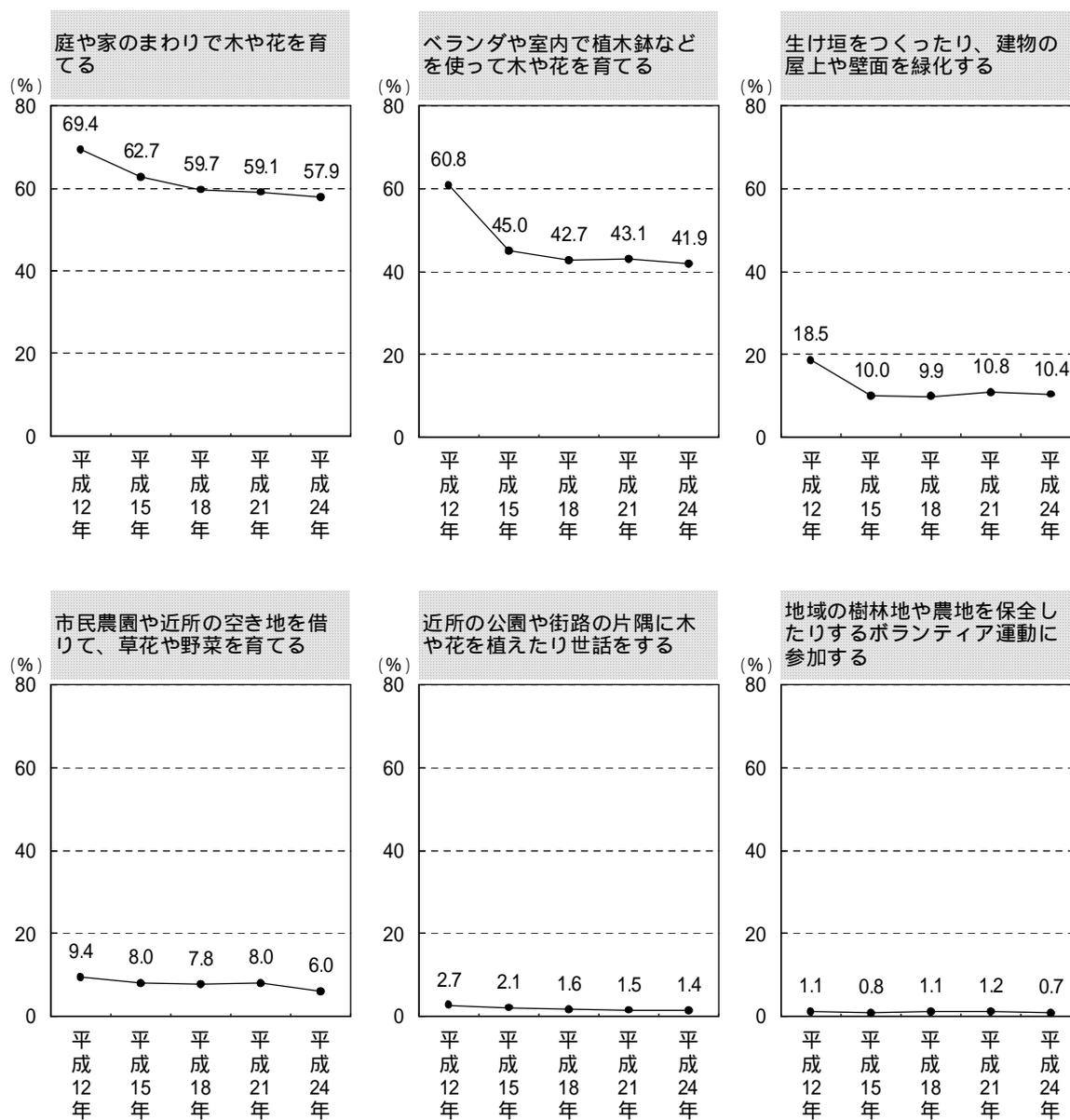
〔今後したい活動〕では、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」(18.3%)が最も多く、20%近くとなっている。以下、「生け垣をつくったり、建物の屋上や壁面を緑化する」(16.2%)、「近所の公園や街路の片隅に木や花を植えたり世話をする」(15.6%)、「地域の樹林地や農地を保全したりするボランティア運動に参加する」(15.1%)などの順となっている。

(図 5 - 5 - 1)

まちの緑化への活動内容

まちの緑化への活動内容について時系列で見ると、各項目ともに平成18年調査以降ではおおむね横ばいとなっている。(図5-5-2)

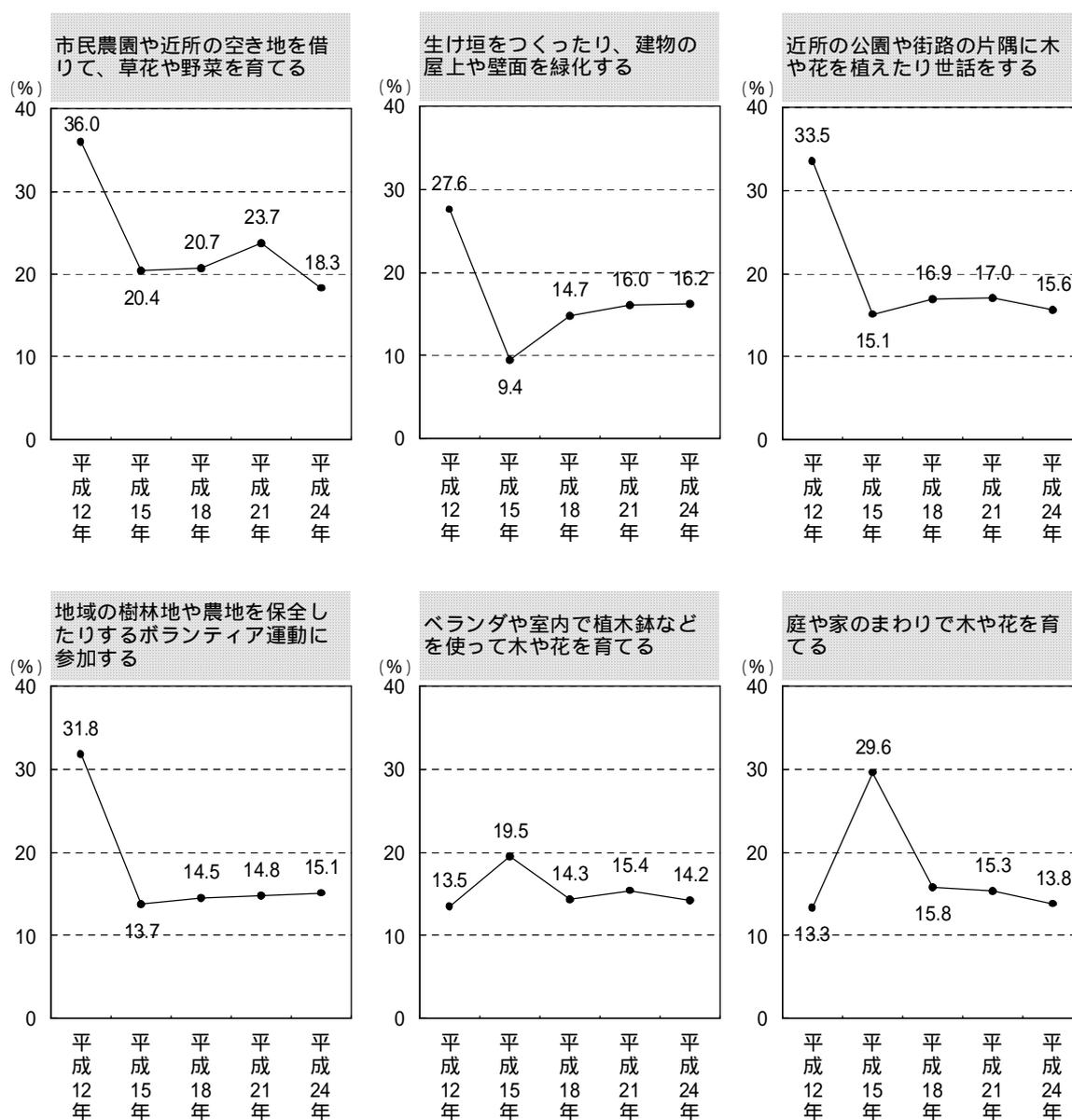
図5-5-2 時系列 まちの緑化への活動内容



まちの緑化のために今後したい活動

まちの緑化のために今後したい活動について時系列でみると、「市民農園や近所の空き地を借りて、草花や野菜を育てる」は前回調査と比べて5.4ポイント減少しているが、それ以外の項目については、平成18年調査以降ではおおむね横ばいとなっている。(図5-5-3)

図5-5-3 時系列 まちの緑化のために今後したい活動

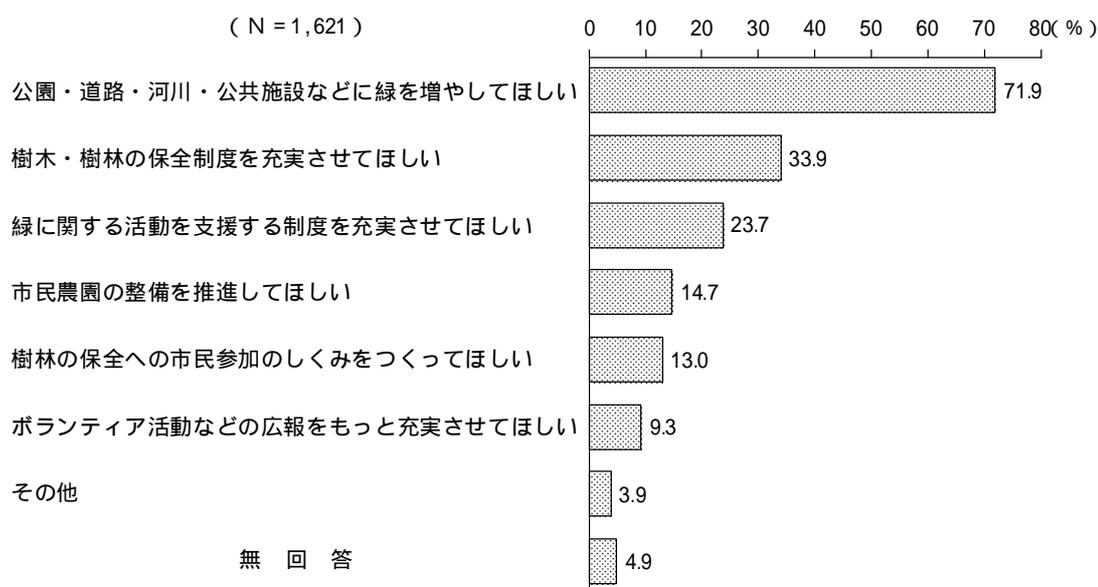


5 - 6 まちの緑化への施策

「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」が71.9%

問31 あなたは街の緑を守り、増やすために、どのようなことを望みますか。次の中から3つ以内で選んでください。(は3つ以内)

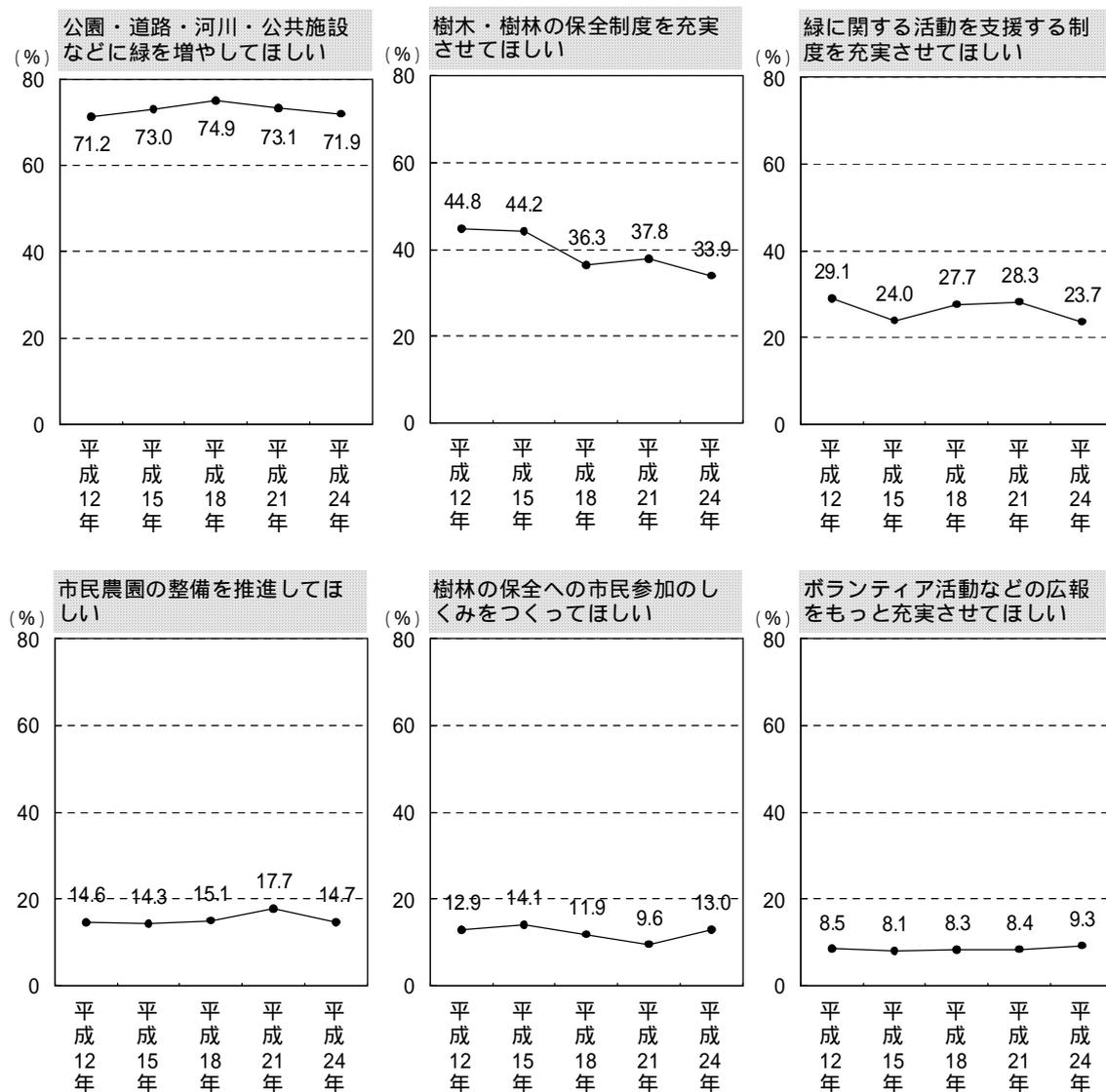
図5 - 6 - 1



まちの緑化への施策をたずねたところ、「公園・道路・河川・公共施設などに緑を増やしてほしい」(71.9%)が最も多く、70%を超えている。以下、「樹木・樹林の保全制度を充実させてほしい」(33.9%)、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」(23.7%)、「市民農園の整備を推進してほしい」(14.7%)、「樹林の保全への市民参加のしくみをつくってほしい」(13.0%)などの順となっている。(図5 - 6 - 1)

時系列でみると、「樹木の保全への市民参加のしくみをつくってほしい」は前回調査と比べて3.4ポイント増加している。「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は前回調査と比べて4.6ポイント、「樹木・樹木の保全制度を充実させてほしい」は前回調査と比べて3.9ポイント、それぞれ減少している。(図5-6-2)

図5-6-2 時系列 まちの緑化への施策



上位5項目を年齢別にみると、「緑に関する活動を支援する制度を充実させてほしい」は高い年代ほど割合がやや高くなる傾向にあるが、それ以外の項目では大きな傾向の違いはみられない。

(図5 - 6 - 3)

図5 - 6 - 3 年齢別 まちの緑化への施策

